

大福研発第131号
令和6年6月26日

各 位

大分県社会福祉介護研修センター
所 長 伊 東 雅 人
(公印省略)


令和6年度「高齢者福祉施設相談職員研修会」の開催について（通知）

当センター事業の推進につきましては、平素からご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を別紙要綱により開催しますので、対象職員の参加についてご配慮賜りますようお願い申し上げます。

大分県社会福祉介護研修センター
社会福祉研修部 担当 吉川・葉真寺
TEL : 097-552-6888 FAX : 097-552-6868

令和6年度 高齢者福祉施設相談職員研修会 開催要綱

- 1 目的 高齢者福祉施設・事業所において相談援助業務に携わる職員が、相談援助の質の向上のために必要な知識・技術を習得し、実践力を高めるとともに、自己理解を深めることにより、資質の向上と意欲の増進を図ることを目的に開催します。
- 2 主催 大分県社会福祉介護研修センター
- 3 開催日時 令和6年8月2日（金）9：55～16：00
- 4 会場 大分県社会福祉介護研修センター 3階 大ホール
〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
TEL (097)552-6888 ・ FAX (097)552-6868
- 5 対象者 高齢者福祉施設・事業所において相談援助業務に従事する職員
- 6 定員 60名
※先着順で定員に達し次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。
※定員に達した場合は、当センターホームページ上でお知らせします。
- 7 資料代 1人 1,000円
※受付時に現金でお支払いください。（おつりのないようにご用意ください。）
※事前連絡なしでの欠席は、原則として資料代をご負担いただきます。
- 8 受講申込 (1) 【申込締切】令和6年7月26日（金）
(2) 【申込方法】Google フォームに必要事項を入力し、お申し込みください。
下記QRコード又はURLからも入力画面に進むことができます。
<https://forms.gle/6SktZEcxc9ewzawAA>

※送信ボタンを押した後、回答のコピーが指定アドレスに届きます。
こちらをもって申込完了となります。回答のコピーのメールが届かない場合はお手数ですがご連絡ください。
(3) 受講キャンセルや当日の遅刻、欠席については必ずご連絡ください。
(4) 受講者に関する個人情報は、受講者名簿の作成等研修に関する目的のみ使用し、他の目的で使用することはありません。

9 研修日程 別紙参照

10 講師 九州ルーテル学院大学 人文学部 心理臨床学科 准教授 西 章男 氏

【プロフィール】

- ・略 歴 : 日本ルーテル神学大学卒業
大分大学大学院福祉社会科学研究科修士課程修了
医療・福祉の現場に勤務し、2005年より九州ルーテル学院
大学勤務
准看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員
- ・専門分野 : ソーシャルワーク、ボランティア
- ・研究テーマ : 支援者の支援

- 11 その他
- (1) 昼食は各自でご用意ください。なお、研修当日、会場で業者が弁当（500円税込み）の予約を受け付けていますので、ご希望の方はお申し込みください。
 - (2) 研修会場は、空調管理に努めていますが、体感温度には個人差がありますので温度調整のできる服装でお越しください。
 - (3) 高齢者等重症化リスクが高い方が利用する施設等の職員が受講する研修であることから、マスクの着用や換気など基本的感染防止対策にご協力をお願いします。
 - (4) 発熱や風邪などの症状、強いだるさや息苦しさなど体調不良の場合は受講をお控えください。
 - (5) 感染症や自然災害等の状況により研修の開催が困難であると判断したときは、急遽、日程変更等の対応をとる場合があります。その際は、当センターホームページにてお知らせします。
 - (6) 会場周辺の坂道や信号機のない交差点において交通事故が多発していますので、交差点での一旦停止や左右の安全確認を徹底してください。

12 申込先・お問い合わせ先

大分県社会福祉介護研修センター 社会福祉研修部 [担当 : 吉川 ・ 薬真寺]
〒870-0161 大分市明野東 3 丁目 4 番 1 号
TEL : 097-552-6888 ・ FAX : 097-552-6868

【別紙】研修日程

時間	研修内容	ねらい
9:20	受付	
9:55	開会・オリエンテーション	
10:00	<p>●講義・演習 「支援者の支援 ～相談援助の視点と実践のためのアプローチ～（仮）」</p> <p>【講師】 九州ルーテル学院大学 人文学部 心理臨床学科 准教授 西 章男 氏</p> <p>(キーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価値と倫理 ・援助関係の形成 ・コミュニケーション技法 ・ストレングスモデル ・外在化 ・ナラティブアプローチ ・エンパワメントアプローチ 	<p>相談援助の視点やアプローチ等を学ぶことにより、様々な課題やニーズをもつ相談者・利用者等に対する応用力・実践力を高める。</p> <p>また、相談援助に必要な知識や技術等を再確認し、自己の業務を振り返り、相談援助職としての自己理解を深める。</p>
16:00	事務連絡・閉会	

※12:00～13:00は、昼食・休憩となります。

※カリキュラムの内容・構成等は変更する場合があります。